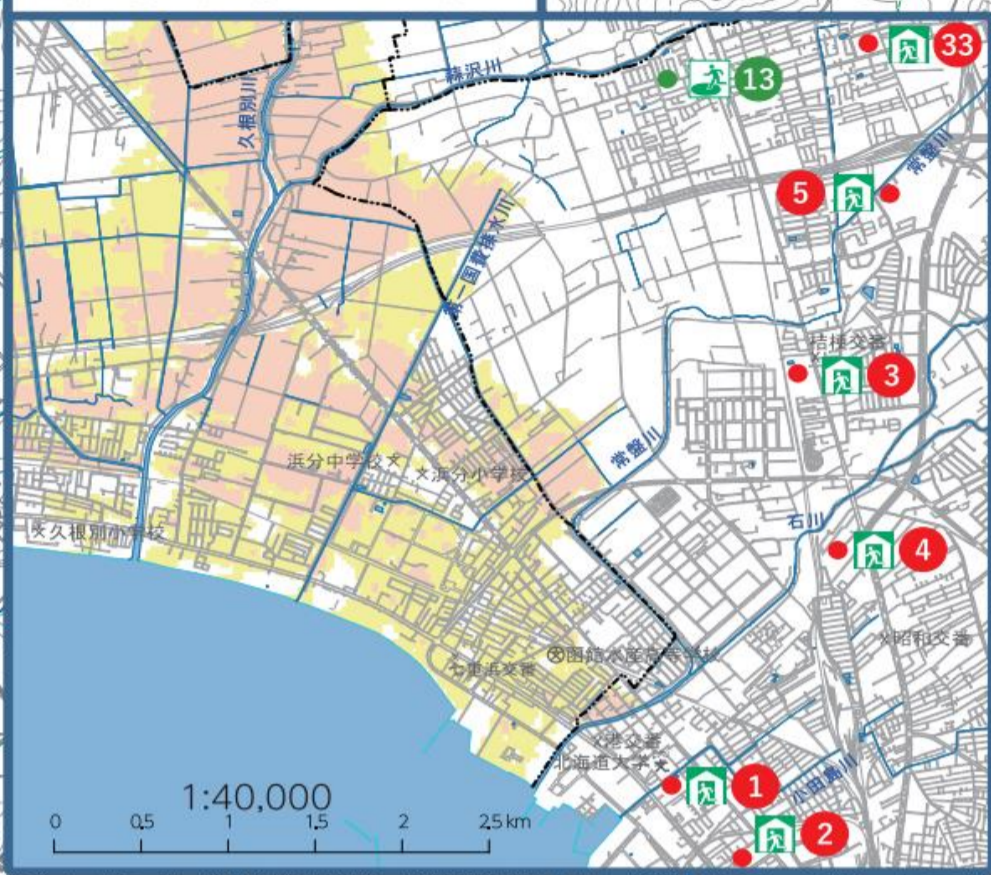


### 久根別川浸水想定区域図



## 松倉川・鮫川・常盤川・石川・久根別川 浸水想定区域図(計画規模)

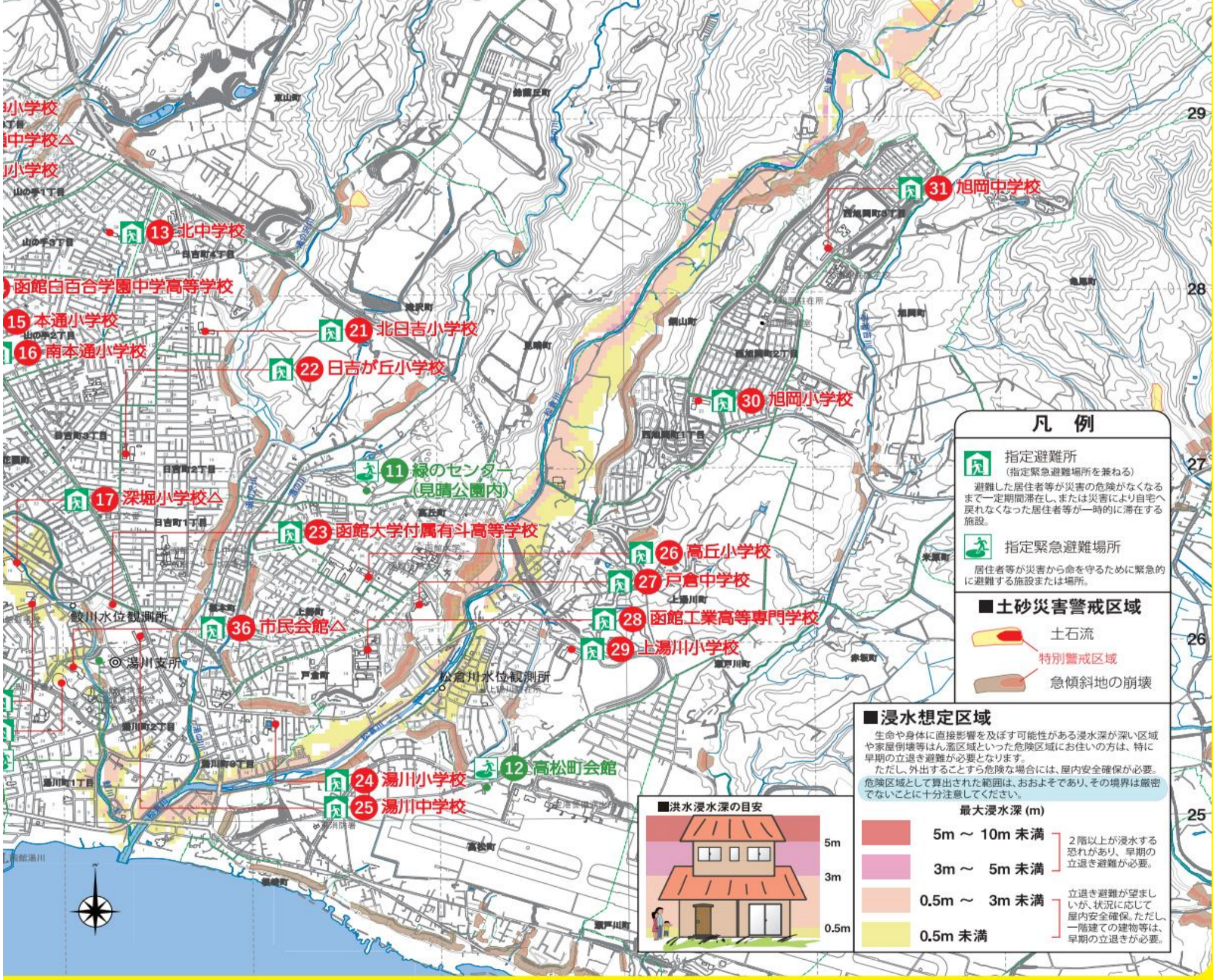
#### 【このマップを見る上での注意事項】

このマップは、北海道が指定した水位周知河川で、河道および洪水調節施設の整備状況を勘案し、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2.0%))の降雨により上記5河川がはん濫した場合の浸水状況について、道がシミュレーションにより予測したものをもとに、浸水深レベル毎に色分け等をして表現したものです。なお、支川の決壊によるはん濫、シミュレーションの前提となる規模を超える降雨、高潮および内水によるはん濫等を考慮しておりません。実際の浸水深と異なる場合や区域の境界が厳密ではなく、あくまで目安であることにご留意してください。

#### 【前提となる降雨】

松倉川・鮫川流域…24時間総雨量186.0mm  
 常盤川・石川流域…2時間総雨量58.8mm  
 久根別川流域…24時間総雨量159.0mm

このマップで着色されていない区域も雨の降り方によっては、安全とは限りません。危険を感じたらすみやかに身を守る行動をしてください。



#### 凡例

- 指定避難所 (指定緊急避難場所を兼ねる)  
避難した居住者等が災害の危険がなくなるまで一定期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった居住者等が一時的に滞在する施設。
- 指定緊急避難場所  
居住者等が災害から命を守るために緊急的に避難する施設または場所。
- 土砂災害警戒区域**
  - 土石流
  - 特別警戒区域
  - 急傾斜地の崩壊

#### 浸水想定区域

生命や身体に直接影響を及ぼす可能性がある浸水深が深い区域や家屋倒壊等はん濫区域といった危険区域にお住まいの方は、特に早期の立退き避難が必要となります。ただし、外出することすら危険な場合には、屋内安全確保が必要。危険区域として算出された範囲は、おおよそであり、その境界は厳密でないことに十分注意してください。

#### 洪水浸水深の目安

最大浸水深 (m)	目安
5m ~ 10m 未満	2階以上が浸水する恐れがあり、早期の立退き避難が必要。
3m ~ 5m 未満	立退き避難が望ましいが、状況に応じて屋内安全確保。ただし、一階建ての建物等は、早期の立退きが必要。
0.5m ~ 3m 未満	立退き避難が望ましいが、状況に応じて屋内安全確保。ただし、一階建ての建物等は、早期の立退きが必要。
0.5m 未満	立退き避難が望ましいが、状況に応じて屋内安全確保。ただし、一階建ての建物等は、早期の立退きが必要。

